



『星空キャンプの教科書』
G.B. (2019) (786.3 コ)

星空とに交わる“星空キャンプ”！
この夏ぜひチャレンジしていただく
お役立ちの満載の1冊です!!
美しい★

岡本晴史

『ひらめき! 食べものの加工』
農文協 (2015) (596 オ)

今すぐやってみたくはる実験の歓迎。
「え、これだけのもで作れるの? これだけ
お味にできるの?」と家族でわいわい
全カ段球まわりのいふし!



魚返洋平

『男コピーライター、育休をとる。』
大和書房 (2019) (599 ウ)

まだ5%しか体験してない、男性の
育児休業の会社員である魚返さん
は、この育児休業を取得することに!
休業中の生活から見て
男コピーライター、
育休をとる。
その
男は
「現場のリアル」を、
ユーモアたっぷり、軽め
かに叙述りまわす

男コピーライター、
育休をとる。
その
男は



今月のおすすめ!

夏休み、大人も子どもと
一緒に楽しむのさあ!

“学ぶ”の3冊?



山中浩之
『マツダ
心を燃やす逆転の経営』
日経BP (2019)
(537 ヤ)

“地獄から復活したと言われ
る”マツダ。70年代の傘下入り
など紆余曲折を経て、なぜ“逆転”するこ
とができたのか。その立役者、元会長
の金井氏にインタビューで迫り
ます! 日本をあらゆる業界で活
かせるはず。ぜひ!!



稲垣美晴
『フィンランド語は猫の言葉』
角川書店 (2019) (893.6 イ)

40年前、フィンランド語を学ぶに
ついでに留学を決意! 七転八倒の
語学習得記
...のほろほろ、楽しい! 楽しい!

「学ぶ、? こんどに楽しいんだ!!」

尾木直樹・木村泰子

『「みんなの学校」から
「みんなの社会」へ』
岩波書店 (2019)
(370.4 オ)

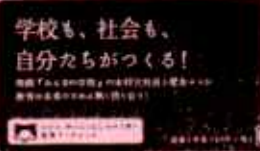
映画「みんなの学校」の
木村元校長と尾木直樹の語り合
い。

「自分たちが手で社会をつくる」とは?

「みんなの学校」から
「みんなの社会」へ



尾木直樹
木村泰子



伊吹有喜

『風待ちのひと』
ポプラ社 (2009) (F イ)

風待ちのひと
伊吹有喜

あの『田舎の日記』の
著者、尾鷲出身の伊吹
有喜さんのデビュー作。

「なんであんなにかたは物語を結び

な方なのでしょう。——乗り越えてこ
てきたのか、にふりかたきや切なさ
を可憐に包み込んで。

夏のおわり再生していった主人は、海
辺の物語。



平田オリザ
『新しい広場をつくる』
岩波書店 (2013) (709 ヒ)

そのためには「広場」が必要で
す! 人がよりよく生きていくために
実は必須の「文化・芸術」は、
再考できるといいです! (特) オ224!